

授業科目 スポーツ心理学実習

【担当教員名】 山崎 史恵		対象学年	3・4	対象学科	スポ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要】 体育・運動・スポーツにおける多種多様な行動を理解するため、これらの差異がどのような心理的条件に規定されているのかを具体的に明らかにする研究法を学ぶ。					
【学習目標】 体育・運動・スポーツ領域の研究法についての基礎的理論を学びながら、スポーツの現場に応用可能な実験手法、心理テストや質問紙作成による調査法、インタビューや面接データの質的分析、さらには観察法等を実践し、適切なデータ処理を行ったうえで、問題を多角的に考察することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	スポーツ心理学における測定の意義と方法				
2	スポーツ心理学の研究法と基礎理論（手順および計画）				
3	実験実習（練習法による効果の違い）				
4	実験実習（結果の知識の効果）				
5	実験実習（言語教示による強調効果）				
6	実験実習（メンタルプラクティスと技能の習得）				
7	実験実習（要求水準および目標設定と運動パフォーマンス）				
8	調査実習（心理テストによる態度・動機・不安の測定）				
9	調査実習（心理テストによるパーソナリティの測定）				
10	調査実習（質問紙作成とリッカート法による態度測定）				
11	調査実習（質問紙作成とリッカート法による態度測定）				
12	インタビューによる面接法				
13	質的データの分析				
14	観察法				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		体育心理学実験実習概説	体育心理学実験指導研究会（編）	大修館書店	1997
その他の資料					
【評価方法】 出席（30%）、実習レポート（60%）			【履修上の留意点】		